



平成 21 年 5 月 1 日

各 位

会 社 名 南海プライウッド株式会社
 代表者名 代表取締役社長 丸山 徹
 (コード:7887 大証第二部)
 問合せ先 執行役員管理部門長 松浦 義博
 (TEL:087-825-3615)

業績予想の修正、特別損失の計上及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 11 月 7 日に公表した平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

I 業績予想の修正

1 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）
 （単位：百万円，%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	13,330	170	250	130	円 銭 13.13
今 回 修 正 予 想 (B)	12,541	27	△78	△283	△28.80
増 減 額 (B-A)	△788	△142	△328	△413	—
増 減 率 (%)	△5.9	△83.9	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	13,383	386	78	△21	△2.14

2 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）
 （単位：百万円，%）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	11,200	0	184	87	円 銭 8.79
今 回 修 正 予 想 (B)	10,660	△170	△64	△247	△25.22
増 減 額 (B-A)	△539	△170	△119	△334	—
増 減 率 (%)	△4.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	11,300	186	△70	△228	△23.11

3 修正の理由

当事業年度における住宅関連業界は、100年に一度の大不況といわれる景気後退の深刻化、株式市場の低迷等による消費者マインドの減退により、需要が著しく低迷し極めて厳しい情勢下で推移いたしました。このような状況のなか、収納材提案営業強化による拡販に努めてまいりましたが、売上高の減少のほか、円高による為替換算差損、デリバティブ時価評価差額損、および賃貸用不動産の減損損失、訴訟関連損失等により、当初予想を大幅に下回る見通しとなりました。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

II 特別損失の計上

当社は、「固定資産の減損に係る会計基準」および「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」に基づき、賃貸用不動産のオリーブマンションについて回収可能価額を厳密に評価した結果、連結及び個別決算において減損損失150百万円を計上することといたしました。

III 配当予想の修正

1 修正の内容

期末配当予想の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回発表予想	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 12.00
今回修正予想	—	0.00	—	5.00	5.00
ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	—	0.00	—	8.00	8.00

2 修正の理由

当社は安定的利益還元維持とともに、適正な利益配分を行うことが経営課題であると認識しております。業績につきましては、上記のとおり当初予想を下回る見込となりましたので、1株当たりの期末配当金を従来予想の12円から7円減の5円とさせていただきます。

以上